

前部長挨拶

陸上競技部 前部長 越川一紀

2021 年（令和 3 年）3 月を持ちまして、順天堂大学を定年退職となりました。多くの方々に支えていただき、無事に定年の日を迎えることができました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

成田高校に勤務していた当時、澤木先生より大学へのお誘いを受け、何度も迷いましたが大学にお世話になることにしました。大学では跳躍コーチ・監督・総監督・部長と 18 年間 OB、OG の皆様に支えられ務めることができました。監督として日本インカレでは 2 度の優勝を遂げましたが、何度も 2 位に甘んじるたび澤木先生から励ましのお言葉をいただき、皆で反省会を開いた事が懐かしく思い出されます。

金子先生の退職後陸上競技部部長になり、山崎監督のもと 2019 年に 9 年ぶり 28 回目の日本インカレ男子総合優勝することができました。（この間 2012 年 4 月に大学院に入り、4 月 28 日の順大記録会で脳脊髄出血に倒れヘリコプターで搬入され入院、佐久間先生・青木先生の素早い対応で命が救われました。感謝致します。その時から今年で 9 年目を迎えます。）

長いようで短い 18 年間でしたが、教えた学生が日本選手権やインカレ、さらに世界選手権やユニバーシアードで活躍してくれたことを、心から嬉しく思います。

これからの順天堂大学陸上競技部の活躍を一 OB として楽しみにしています。



中央：来間 弘樹(H30) 右：永田 純也(H23)

競技場の桜を背に教え子らと

着任のご挨拶

跳躍コーチ
杉林 孝法



4 月に新任教員としてスポーツ健康科学部に着任し、陸上競技部跳躍コーチを拝命いたしました、杉林孝法と申します。OBOG のみなさま、これからどうぞよろしくお願いいたします。前任の越川一紀先生は私が高校時代から遠征等

でアドバイスをいただくなどずっと気にかけてくださいました。その後を受け継ぐことになるとは大変不思議な思いがいたします。越川先生のこれまでの長きにわたる陸上競技部へのご尽力と陸上にかかる思いに心から敬意を表しますとともに、責任の重さを改めて感じているところです。跳躍ブロックは他ブロックと同様に輝かしい歴史と実績があり、これからも大学陸上界の中心的存在であらねばならないと思います。強い跳躍ブロックをさらに前進させるため、これから全力を尽くしてまいります。